

2 授業科目の概要

(1) 授業科目表

<人間生活学部 健康栄養学科>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通科目	全科学目共通	仏教の人間観	1前	2								
	人間と宗教	1後		2								
	仏教の思想	2前		2								
	人間学関連科目	哲学の世界観	2前		2							
		生命の倫理	1後		2							
		日本国憲法	1前		2							
		文学の世界	2後		2							
		音楽の世界	3前		2							
		美術の世界	2後		2							
		基礎演習	1前	2				1	2			担当していた専任講師が育児休暇(産休含む)のため、専任准教授1名を追加した。(24) 担当 谷 洋子(准教授) 平成23年9月 教員審査済 判定「可」(24)
		環境・健康生活科目	生活と環境A	1後		2						
	生活と環境B		2前		2							
	生活と環境C		3前		2		1					履修希望者がいなかったため未開講とした。(23) 履修希望者がいなかったため未開講とした。(24)
	生活と環境D		2後		2							
	スポーツと健康		1後		2							
	スポーツA		1前		1							
	スポーツB		2後		1							
	外国語科目	英語Ⅰa	1前	1								
		英語Ⅰb	1後	1								
		英語Ⅱa	2前		1							
		英語Ⅱb	2後		1							
		英語Ⅲa	3前		1							
		英語Ⅲb	3後		1							
フランス語入門a		1前 2前		1							教育効果をより高めるため、開講学期を変更した。(22)	
フランス語入門b		1後 2後		1							教育効果をより高めるため、開講学期を変更した。(22)	
ドイツ語入門a		1前 2前		1							教育効果をより高めるため、開講学期を変更した。(22)	
ドイツ語入門b		1後 2後		1							教育効果をより高めるため、開講学期を変更した。(22)	
中国語入門a	1前 2前		1								教育効果をより高めるため、開講学期を変更した。(22)	
	1後 2後		1								教育効果をより高めるため、開講学期を変更した。(22)	
情報科目	情報基礎Ⅰ	1前	2									
	情報基礎Ⅱ	1後		2								

専門科目	基礎分野	基礎化学	1前		2		1							
		基礎生物学	1前		2		1							
		分析化学	1前 4後		2									教育効果をより高めるため、開講学期を変更した。(23)
		有機化学	1後		2				0 +					担当の専任講師が退職のため、その後任として兼担教授を補充した。(23) ※平成23年1月教員審査の結果(兼任補充可)の判定
		生命科学	2前		2		1							
	専門基礎分野	公衆衛生学	2前	2			1							
		公衆衛生学実習	2後	1			1		1		1		教育の充実を図るため、専任教員1名を増やした。(22) 担当 野村卓正 (講師) 平成22年1月 教員審査済 判定 「可」 (22)	
専門科目	専門基礎分野	健康管理概論	1前	2			1							
		社会福祉論	3後		2									
		解剖生理学	1前 4後	2			1							教育効果をより高めるため、開講学期を変更した。(23)
		解剖生理学実験	1後	1					1		1			
		基礎生化学	2前	2			1							
		栄養生化学	2後	2			1							
		基礎生化学実験	2後 2前 2後	1			1			1		1		教育効果をより高めるため、開講学期を変更した。(22) 教育効果をより高めるため、開講学期を再変更した。(24)
		栄養生化学実験	3前	1			1			1		1		
		病理学	2前	2					1					設置認可の際、専任教員補充を必要とされたため(21) 担当 笈田耕治 (准教授) 平成21年7月 教員審査済 判定 「可」 (21)
		臨床医学概論	2後	2			1							
		運動生理学	3前	2										
		微生物学	3後 4前	2			0 +			1				予定していた専任教授が就任できなかったため、その後任として専任講師を補充した。(22) 担当 野村卓正 (講師) 平成22年1月 教員審査済 判定 「可」 (22) 教育効果をより高めるため、開講学期を変更した。(23)
		微生物学実験	4前 4後	1			0 +			1		1		予定していた専任教授が就任できなかったため、その後任として専任講師を補充した。(22) 担当 野村卓正 (講師) 平成22年1月 教員審査済 判定 「可」 (22) 教育効果をより高めるため、開講学期を変更した。(23)
		食品学総論	1前	2							1			担当していた専任講師が退職のため、その後任として新任の専任講師を補充した。(23) 担当 浦本裕美 (講師) 平成23年1月 教員審査済 判定 「可」 (23)
		食品機能学	1後		2						1			担当していた専任講師が退職のため、その後任として新任の専任講師を補充した。(23) 担当 浦本裕美 (講師) 平成23年1月 教員審査済 判定 「可」 (23)

専 門 科 目	栄 養 教 育	栄養教育論Ⅱ (子ども・高齢期栄養教育論)	3前	2			0 ±	1			設置認可の際、専任教員補充を必要とされたため (21) 〔担当 八倉巻和子 (教授) 平成21年7月 教員審査済 判定 「可」 (21) 担当していた専任教授が退職のため、その後任として新任の専任准教授を補充した。(24) 〔担当 岸部公子 (准教授) 平成24年1月 教員審査済 判定 「可」 (24)	
		栄養教育論Ⅲ (行動療法・カウンセリング)	3前	1			0 ±	1			設置認可の際、専任教員補充を必要とされたため (21) 〔担当 八倉巻和子 (教授) 平成21年7月 教員審査済 判定 「可」 (21) 担当していた専任教授が退職のため、その後任として新任の専任准教授を補充した。(24) 〔担当 岸部公子 (准教授) 平成24年1月 教員審査済 判定 「可」 (24)	
		栄養教育論Ⅳ (健康栄養情報処理演習)	3後	1					1		1	
		栄養教育論実習	3前	1			0 ±	1			1	設置認可の際、専任教員補充を必要とされたため (21) 〔担当 八倉巻和子 (教授) 平成21年7月 教員審査済 判定 「可」 (21) 担当していた専任教授が退職のため、その後任として新任の専任准教授を補充した。(24) 〔担当 岸部公子 (准教授) 平成24年1月 教員審査済 判定 「可」 (24)
	栄 養 の 実 践	臨床栄養病理学	2後		1			1				
		臨床栄養学Ⅰ (栄養療法)	3前	2					1			
		臨床栄養学Ⅱ (栄養アセスメント)	3前	2					1			
		臨床栄養学Ⅲ (チーム医療)	3後	2					1			
		臨床栄養学Ⅳ (臨床栄養管理)	3後	2					1			
		臨床栄養学実習Ⅰ (食事療法)	3前	1					1		1	
		臨床栄養学実習Ⅱ (栄養アセスメント)	3前	1					1		1	
		臨床栄養学実習Ⅲ (臨床栄養管理)	3後	1					2		1	
		公衆栄養学Ⅰ (地域栄養活動)	3前	2					1			設置認可の際、専任教員補充を必要とされたため (21) 〔担当 桑守豊美 (准教授) 平成21年1月 教員審査済 判定 可 (21)
		公衆栄養学Ⅱ (栄養疫学)	3後	2					1			設置認可の際、専任教員補充を必要とされたため (21) 〔担当 桑守豊美 (准教授) 平成21年1月 教員審査済 判定 可 (21)
		公衆栄養学実習	3後	1					1		1	設置認可の際、専任教員補充を必要とされたため (21) 〔担当 桑守豊美 (准教授) 平成21年1月 教員審査済 判定 可 (21)
		給食経営管理論Ⅰ (給食計画)	2前	2						1		
		給食経営管理論Ⅱ (マネジメント)	2通 2後	2						1		教育効果をより高めるため、開講学期を変更した。(23)
給食経営管理論Ⅲ (食料商品学)	3前		2					1				

専門分野	栄養の実践	給食経営管理論実習	2通 2後	1				1	1	教育効果をより高めるため、開講学期を変更した。(23)	
		栄養総合演習Ⅰ	3～4通	2			3 2	1	2	設置認可の際、専任教員補充を必要とされたため(21) 〔担当 桑守豊美(准教授) 平成21年1月 教員審査済 判定 可(21)〕	
		栄養総合演習Ⅱ	4前		2		3 2	1	2	設置認可の際、専任教員補充を必要とされたため(21) 〔担当 桑守豊美(准教授) 平成21年1月 教員審査済 判定 可(21)〕	
	臨地実習	給食経営管理臨地実習	3後		1			1	5		
		臨床栄養臨地実習	4前	2			2		5		
		公衆栄養臨地実習	3前 3後		1		1		5	設置認可の際、専任教員補充を必要とされたため(21) 〔担当 桑守豊美(准教授) 平成21年1月 教員審査済 判定 可(21)〕 教育効果をより高めるため、開講学期を変更した。(23)	
		給食運営実習	3前	1			1	1	5		
	特別演習・卒業研究	フィールドワーク演習	2～3通		2		2	3	5	担当していた専任講師が1名退職のため、その後任として新任の専任講師を補充した。(23) 〔担当 浦本裕美(講師) 平成23年1月 教員審査済 判定 「可」(23)〕	
		健康・栄養特別演習Ⅰ	3通	2			4	4	3	5	担当していた専任講師が1名退職のため、その後任として新任の専任講師を補充した。(23) 〔担当 浦本裕美(講師) 平成23年1月 教員審査済 判定 「可」(23)〕
		健康・栄養特別演習Ⅱ	4前	2			4	4	3	5	担当していた専任講師が1名退職のため、その後任として新任の専任講師を補充した。(23) 〔担当 浦本裕美(講師) 平成23年1月 教員審査済 判定 「可」(23)〕
		健康・栄養特別演習Ⅲ	4後		2		2	4 2	3	5	設置認可の際、専任教員補充を必要とされたため(21) 〔担当 桑守豊美(准教授) 平成21年1月 教員審査済 判定 可(21)〕
		卒業研究	4通	4			4	4	1	5	担当していた専任講師が1名退職のため、その後任として新任の専任講師を補充した。(23) 〔担当 浦本裕美(講師) 平成23年1月 教員審査済 判定 「可」(23)〕
	関連科目	生涯発達心理学	3後		2						
		分子栄養学	2後		2		1				
		国際食糧・栄養情報論	2前		1						
食品品質評価演習		2後		2				2	1	担当していた専任講師が1名退職のため、その後任として新任の専任講師を補充した。(23) 〔担当 浦本裕美(講師) 平成23年1月 教員審査済 判定 「可」(23)〕	
食文化論		3前		2							
学校栄養教育の理論と方法		3前		2			1				
食指導の理論と方法		3後		2			1				
心と健康		3後		2							

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 57	科目 51	科目	科目 108	科目 57	科目 51	科目	科目 108	
				[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

未開講科目はない。(21)
未開講科目はない。(22)
未開講科目はない。(23)
未開講科目はない。(24)

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

廃止科目はない。(21)
廃止科目はない。(22)
廃止科目はない。(23)
廃止科目はない。(24)

- (注) ・ 設置認可時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講又は廃止の授業科目はない。(21)
未開講又は廃止の授業科目はない。(22)
未開講又は廃止の授業科目はない。(23)
未開講又は廃止の授業科目はない。(24)

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = 0.00\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。